

# えちごやま

## ◆まちづくりニュース



No.12

まちの管理運営について  
検討を始めています

## ●越後山まちの管理運営検討委員会を設置、開催しました

### ■なぜ「まちの管理運営」なのか？

●今後、人口減少に伴う宅地需要が減少により、魅力のない街の土地の値段は長期的に下落することが予測されます。自分たちの資産である地価を維持・向上させるためには、他地区との違いを際立たせることが

必要です。そのため越後山地区では「質の高いまちづくり」を進めてきました。また、地区の魅力をいつまでも保ち続けるためには、越後山にあった維持管理を住民自身が担っていくことが必要となっています。

### ■越後山まちの管理運営検討委員会の設置

●区画整理により整備される道路や公園、集会施設や街路樹、花壇などについて、ここに暮らす住民の皆さんの視点から、どのように維持・管理したらよいの

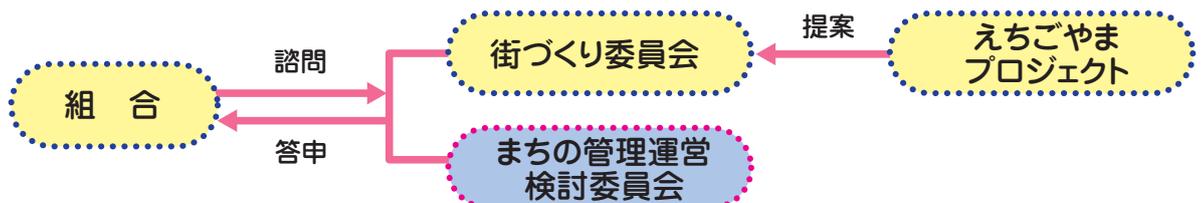
か、また、越後山地区全体を管理運営するための組織をどのように作っていくのかを検討するため、「越後山まちの管理運営検討委員会」を設置しました。

### ■委員会の位置づけ

●組合では、まちづくりに関する検討組織として、「街づくり委員会」及び「えちごやまプロジェクト」を設置しています。今回設置した「まちの管理運営検討委員

会」は、将来、越後山のまちづくりを担う自治会の皆さんにも参加いただき、地域全体で幅広い検討を行うことから、これらとは別の組織としています。

まちの管理運営検討委員会の位置づけ



### ■委員構成

●委員は、組合理事のほか、和光市職員、農協職員、業務代行者、事務代行者などの関係者、越後山自治会

及び緑自治会からもそれぞれ3~4名に参加して頂いています。

## ■一緒に活動することが一番のコミュニティづくり

●越後山地区では今後、新たに転入してくる方も参加した新たなコミュニティづくりを進めていくことが必要です。一緒にまちを管理運営する中で、人と人との関係が生まれます。そうした関係の輪が広がることで、より良い地域環境が築かれることが理想です。



## ■まずは「みんなで作る」ところから

●組合ではこれまで皆さんに参加いただきながらまちづくりを進めるため、意向調査などを実施し、その結果を踏まえてまちづくりを進めてきました。

●今後はこうした皆さんのまちづくりへの参加をさらに進め、将来自分たちで使う公園やポケットパークなどをどのように整備すべきか、といったより具体的な部分についても「まちの管理運営検討委員会」を中心に、住民の皆さんの参加も得ながら検討を進め、「自分たちで作ったまち」という意識をより強く持っていた

だけのような工夫をしていく予定です。ぜひご協力をお願いいたします。



## ■これまでの検討の経過とこれからの進め方

●今年1月30日の第1回委員会から、先進地の視察も含め、これまで8回の委員会を開催しています。現在は、イベントなどの地域全体での活動の中から、具体的な問題点や課題を見つけたため、8月末に交流イベントの実施を企画し、その準備を進めています。

●今後は、これらの活動から浮かび上がる問題点・課

題をしっかりと認識した上で、将来のまちの管理運営組織のあり方や、暮らしやすいまちづくりに向けた活動のあり方などについて検討を進めていく予定です。

●なお、検討の結果については、ニュース等で皆さんにも適宜お知らせしていきます。

## ■「越後山ふれあい広場」(地域交流イベント)を開催します。

●来る8月29日(土)午前10時より、組合事務所脇の駐車場において、地域のみなさんの交流のためのイベントである「第1回越後山ふれあい広場」を開催します。今回は「まちの管理運営検討委員会」での今後の検討のための「手がかり探し」を主な目的としていますが、将来にわたって地域の恒例行事として定着できるよう、準備を進めています。詳しい内容はチラシやポスターなどをご覧ください。

